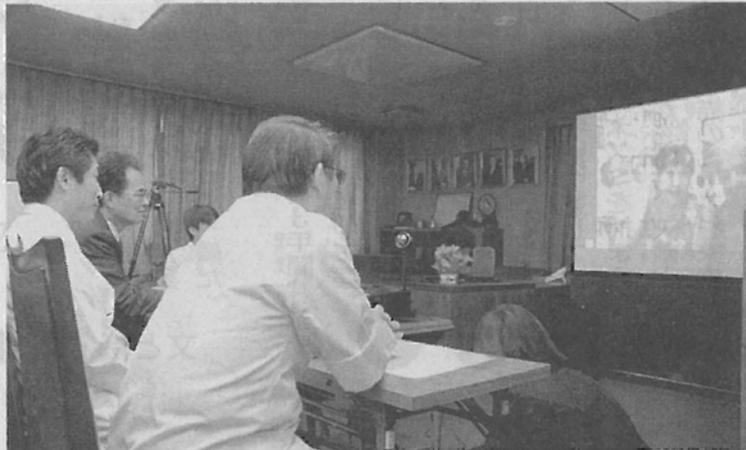


在タイ邦人遠隔健康相談



チェンマイに住む日本人の健康相談に応じる香川大医学部の医師ら＝三木町池戸の香川大学医学部で

ネットテレビ電話で実演

タイ北部のチェンマイに住む日本人を対象に、12月から遠隔健康相談サービスが始める香川大医学部(三木町)が30日、チェンマイと

同会のパソコンのテレビ電話で、同学部の内科医による健康相談が受けられる。

同大学をインターネットと結び、デモンストラーションをした。

今年5月からの通信実験では、数日前から、同会会員の男性(68)の歩き方や様子の異変に

同サービスでは、チェンマイ在住のロングステイをしている日本人が作る「チェンマイロングステイライフの会」が遠隔健康相談の

気がついた妻(62)が、横井英人教授にテレビ電話を介して相談。横井教授は脳こうそくの疑いがあると判断し、すぐに現地の病院に行くことを勧めた。結果は

希望者から申し込みを

脳こうそくと診断され、早期発見につながった。男性は一症状を日本語で先生に直接伝えられるのが安心」と話していた。

香川大とチェンマイ結び

同会の代表世話人の1人、田口幸秋さん(69)も「我々の一番の心配は健康問題。できるだけ長く続けてほしい」と話していた。横井教授は「今後、チェンマイ大の医師と医療データをやり取りしながら、治療方法などを遠隔で議論するようなこともやっていきたい」と話していた。

【吉田卓矢】